

# 株式会社ジェイコム埼玉・東日本 川越局 2019 年度放送番組審議会 議事録

【日 時】 2019 年 3 月 23 日(月) 午後 3 時 00 分～5 時 00 分

【場 所】 ジェイコム埼玉・東日本 川越局 2階 会議室

## <放送番組審議会委員>

ご出席

能瀬 さち子 様            檜 山   乃 武   様  
藤 縄   善 郎   様            横 田           等   様            (五十音順)

ご欠席

飯 村   章           様            林           成 一           様

事務局からの推薦により、議長に横田委員が就任した。

事業者側から現況報告及びコミュニティチャンネルの取り組みにつき報告があった。

## 番組の審議(議長により進行)

■ 審議番組『デイリーニュース』(2019 年 10 月 14 日放送) について

(議長)『デイリーニュース』 について各委員よりご意見、ご要望を頂きたい。

(委員:台風 19 号被害の災害関連の取材について)

- ・地域に密着した NHK では見られない細部に渡った映像があってよかった。
- ・アナウンサーが現地に入って報道されていたことがリアルに感じられた。
- ・実際に映像で見て「こんななんだ」と衝撃を受けた。NHK ではわからない部分の放送で実感することができてありがたかった。

(委員:台風被害の取材の時期について)

- ・(議長)取材は翌日可能だったのか

(事業者:台風災害の対応の説明)

- ・リポートは日曜(翌日)と月曜(翌々日)。車が近くまで行ける、という状態。被害を受けた米菓工場の方には取材配慮など大変協力いただいた。半年経つので復旧状況など取材に行ければ視聴者にも関心を持ってもらえるのでは、と考えている。

**(委員:被災状況の映像の評価)**

- ・被害を実感する上でも地域に密着した映像は本当に大事だと思った。
- ・一番近くで現場赴いての映像に親近感が持てた。災害の映像は悲惨なこともあるが、復旧の取材などについては、コロナウィルスも一緒だが、がんばっている、前に転じていけるという明るい話題があるといいと思う。
- ・(議長)後々の取材は重要なファクターだと思う。

**(事業者:J:COMの災害取材に関する考え方説明)**

- ・(事業者)特に災害時はNHKをご覧になることが多いと思うが、NHKで全国の状況や県の状況を把握してもらった上で、その後の復旧や生活支援状況などの取材に注力し発信していかねばならないと考えている。その他に罹災証明の取得方法や、坂戸では市長自らの義援金募集の呼びかけコメントなども放送した。

**(被災者への生活支援情報の発信について)**

- ・(議長)罹災証明などはみんながわからないことが多いので必要な情報である。

**(委員:デイリーニュースへの評価、PRの提案)**

- ・関心を持って見るとしっかりと取材ができています。また興味深い番組が流されているのを再認識した。もっとPR方法をもっと考え、発信を拡散させた方がいい。
- 台風の取材でアナウンサーが直接レポートに行っていたことは、かなり視聴者の興味を引く。まさにローカルなところに密着している強みが発揮できていると思う。また、後々のフォローは全国放送ではできないところであり、強みであるから、他の番組でも取り上げて欲しい。
- ・(議長)通常、地上波ではニュースのキャスターが現地に行くことはないが、キャスターが発信したことがよかったと思う。

**(委員:非常時の地域での多世代での連携の必要性)**

- ・災害支援、ボランティアなど、大きな単位では難しい部分があるが、サークルなど小さな単位で、お手伝いできないかと思った。連携できるネットワークがあれば小さい単位からでも活動でき、実績が積み重なれば大きな組織単位を動かせると思う。
- ・若い人の力を借りる重要性をつくづく感じた。
- ・若年層は背中を押してくれる大人の存在も必要かと思う。ネットワーク機能としてJ:COMでまとめ役などしてもらえると嬉しい。
- ・今ある色々なネットワークがある中で引き続き後押ししながら、うまく接点を繋げていって欲しい。そこにJ:COMが入るのもおもしろいと思う。

(議長) J:COM での組織化は難しい部分もある。が、学生たちのまとまった力は大きい。

(事業者:取材アプローチに関してコミュニティの確保の重要性について)

・今は片方向に取材、放送という部分があるが、我々の使命として J:COM を活用してもらうことが大事なことだとも思っている。新しいコミュニティを活用して地域の人たちと連携していく取り組みは取材活動にもつながり、災害時の地域の復興にもつながると改めて思うので今後の課題としたい。

(委員:取材ソースの選定について)

・取材については経験や個人的なネットワークから網を広げてるのか？

(事業者応答)

決まったものはないが、行政のリリースや属人的に個人のネットワークを広げてニュースソースを拾い上げる。その方法が確立されておらず、関係値が強ければ多くの情報を得られるという状況。行政との関係値は比較的高いが、民間の情報に関してはもっとつながりを深める必要性を感じている。

(委員:新型コロナの影響による放送内容の変更について)

・(議長) 審議の番組のことだけでなくこういう状況が続くなかで今後どうするのか聞きたい。各地で新型コロナ感染拡大に伴い、イベントがほぼ中止になっているが今後の放送はどうするのか。

(事業者応答)

この 1 ヶ月はイベントのない状況でニュース的には相当苦しさを感じている。散発的に行政や企業のコロナ関連の対応が出てはきている。視聴者に有益な情報を組み込む様になっている。また、諄くはなるが手洗いなどは必要な情報と考えている。

・川越商工会議所からの経営支援の情報をメディア媒体として、発信していく他、影響の大きい企業紹介などのコーナーを設けられないかと調整中。J:COM を使ってもらうのも一つの方法ではないかと思っている。

・(議長) 影響を受けた企業の一助になるのではないか。

(事業者:新型コロナ関連の放送の考え方)

・どの民放のチャンネルもコロナばかりである中で、民放とは違った視点で現状に対しアプローチしていかないとローカルメディアとしての価値を見出せなくなると考える。

(委員:現在の民放含む放送状況に関する意見)

- ・アニメ放映などはなるほど、と思った。子どもたちはやることがない。
- ・地域のお寿司屋さんが子ども達にお弁当を配布し、賛同する方が食材の提供など支援の輪が広がっている、またある斎場では葬儀などない時に子ども達にホールを開放しているなど、そんな情報を伝えるのもいいのではないかと思う。
- ・コロナ関連ばかりなのでホッとできる情報や明るいニュースがありがたい。

**(事業者応答)**

参考にしたい。子ども食堂の活動などリサーチ中である。川越でもこういった形でできるのか考えていきたい。

**■ 審議番組『長々と散歩』(川越駅西口複合ビルへの期待 2020年3月1日放送)について**

**(委員:開始時期や番組コンセプトについて)**

- ・(議長)いつから始まった番組か。色々な首長さんが出演されてますが、ほとんどが行政のPRなのか。

**(事業者応答)**

一昨年の7月から放送開始、地域の方たちに向けて、情報を首長自らプレゼンしていただくというコンセプトがあり、行政依頼の番組ではないので、PR だけや広報番組にならない様に工夫する必要性を感じている。

**(委員:知らない情報が細かく紹介されており有益)**

- ・地元にいながらも知らない内容ばかりなので、大いに報道して欲しい。細かい部分もありがたい。

**(委員:それぞれの首長の個性や地域の特性について)**

- ・地域によって情報数が違い少ないところもある。そうすると首長の性格で内容が違ってくのではないか。

**(事業者応答)**

現在10市町村放送、バラエティ的な感じで出演される首長や、片や行政番組の延長線上というスタンスの方もいてそれぞれ異なる。

**(委員:長々と散歩に対する提案)**

- ・それぞれの味を出してもらえればと思う。
- ・堅いという印象の首長もいる。
- ・映像ばかりでなく必要な箇所については図面など出すとわかりやすいと思う。
- ・首長によってはもっとこちら側からの提案も必要かと思う。

**(事業者応答)**

広報担当者の考え方もある。担当の部局にもよる。首長の性格ばかりが全てではないと考えている。東京で始まった番組であり、比較的自由度が高い。川越エリアの長々と散歩は行政の取り組みを紹介するパターンになってしまっている。

**(委員:「面白さ」を期待)**

- ・台本通りきちんと喋ってしまうと面白くない。もっと提案していい。掛け合いでいいと思う。
- ・演者の力量もあるのかと思うのが、制作側で仕掛けていくのも必要かと思う。
- ・やり取りが台本そのままにそつなく進んでしまっている感じがする。
- ・最後のコーナーで首長のキャラクターを出すとか、もっとワクワクするやり取りを期待する。見ている中で、この場所で自分でも何かできないかと思えることができた。
- ・いずれにせよハプニング的なものもおもしろい。意外性が面白い。
- ・(議長)何人かの首長は地域の色が出せていて、面白いのがわかる。

**(事業者応答)**

首長のカラーが違うので同じ番組に見えないところは課題であり、構成と各行政とのすり合わせをもっと詰めていきたいと思う。また首長と演者の組み合わせによっては掛け合いがとておもしろかった回があった。作り手の工夫でカラーも作れるのかと思った。

行政広報番組ではないのもっと面白く、ディレクションも考えていきたい。

**■ 審議番組以外のご意見**

- ・(議長)全般的に何かあればご意見いただきたい。
- ・コロナ関連で何もかも中止になってしまって減入る。健康にも悪い。何かいいことがないか考える。
- ・若い子たちを取り込んで何かできるとよい。今時の子たちは自分達から地域の人たちと何かしたいと言ってきている。その発端を準備してあげると地域の人たちのふれあいができると思う。
- ・スマホで J:COM 番組が見られることなどももっとアピールしていけるといいと思う。学生にも「ど・ろーかる」アプリを知って欲しい。
- ・(議長)大学の食堂やカフェテリアで J:COM の番組を放送するのもいいのではないかと思う。
- ・ネットワークが公のものから個人まで多種あり、環境が変わると今までとは違うつながりが他にいくらでもあることを実感する。それらのネットワークなどをシステムとして作ってあげればいいと思う。そうすれば穴が埋められ、もっと面白くなる。若い子たちはテレビも見るけれど、スマホアプリの活用が想像以上。この部分をもっと広報含め上手く広げてあげればいいと思う。

・(議長)情報ソースの収集は大きな課題。自分は顔見知りなので電話で情報提供する機会が多い。

(事業者応答)

貴重なご意見として承る。番組作りの参考とさせていただき、より良いものを作っていきたい。今後ともお力添えいただきたい。

#### 4. 2019 年度ジェイコム埼玉・東日本 川越局の活動報告

#### 5. 閉会(事務局)

定刻となったため本会を終了する。

以上